



JUNBA 理事会(第 168 回)議事要旨

日 時:令和4年11月17日(木)16:00-16:50

場 所:オンライン

出席者:

【理 事】奈良先端科学技術大学院大学(三宅会長)、名古屋大学(神山副会長)、
大阪大学(Scott 理事)、桜美林大学(丸山理事)

【アドバイザー】サンフランシスコ総領事館(黒川領事)、JETRO サンフランシスコ事務所(林所長)

【事務局】日本学術振興会(中別府事務局長、太田副センター長、安藤、遠藤、Abby)

【オブザーバー】名古屋大学(岡田)、大阪大学(東澤)、早稲田大学(眞谷)

1. 第 167 回及びメール審議 JUNBA 理事会議事要旨の承認について【資料 1-1~1-2】

議事に先立ち、資料 1-1~1-2 に基づき、第 167 回理事会及びメール審議議事要旨案を了承した。

2. 議題

(1) 令和 5 年度 JUNBA 活動計画について【資料 2】

事務局から資料 2 に基づき、次年度の国際協力員について、3 名から 1 名に減少予定であり、JUNBA 専任の担当を置けるか不確定であることを踏まえて、次年度、引き続き、同時通訳付オンラインセミナーを 2 回開催し、JUNBA 設立から 20 周年を迎える令和 6 年度に直面シンポジウムを開催してはどうかと提案があった後、次年度以降の活動計画にかかる意見交換が行われた結果、次年度も、引き続き、同時通訳付オンラインセミナーを 2 回開催することが了承された。

主な意見

2023 年度に日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センターも 20 周年を迎える予定であり、センター 20 周年からは、1 年ずれてしまうが、2024 年度に JUNBA 20 周年シンポジウムと合わせて開催することで、予算措置しやすいのではないか。

次年度の事務局の体制を考慮すると、同時通訳付オンラインセミナーを 2 回開催するのは良いのではないか。また、シンポジウムの形式については、大規模イベントを開催する際、交通費等、予算の問題もあるため、現在開催しているセミナーのように、講師と理事会関係者を会場にお呼びして、小規模開催するのも良いのではないか。

(2) 令和 4 年度第 2 回 JUNBA セミナーについて【資料 3-1~3-5】

事務局及び担当校から、資料 3-1~3-5 に基づき、令和 4 年度第 2 回 JUNBA セミナーについて説明があった後、企画内容について意見交換が行われ、セミナーテーマ、本セミナーにおいて同時通訳をつけること及び事前のリハーサル日程(米国西海岸時間 1 月 19 日(木)午後 3 時から及び 1 月 25 日(水)午後 4 時から)が決定された。

また、三宅会長から、米国出張の際に、スタンフォード大学の Vice Provost にお会いし、JUNBA において、講演を依頼する場合は、新設学部の Dean をご紹介いただけることが確認できた旨、報告があった。

主な意見

講演内容については、米国における SDGs への取り組みについて、4部構成を予定しており、米国で数少ない Voluntary University Review を実施している UC Davis からの講演は、より知見に富んだものになるのではないかと。

Voluntary University Review の位置づけの確認と、米国での実施校数にかかる根拠資料での確認が必要ではないかと。

講演の最後に日本の大学に向けたアドバイス等の内容を追加してはどうか。

背景説明において、日本の大学における SDGs への取り組みについて、担当校から講演するのはどうか。

日本の大学における取組として、国連主導での SDGs にかかるコンソーシアムが2件ほど形成されているので、背景説明でコンソーシアムにおける取組等を紹介してはどうか。

三宅会長から、周知については、京都大学において運用していたあさがお ML が使用できなくなってしまった旨、共有があった。

早稲田大学、眞谷様から、私立大学への周知について、JAFSA を通した周知が効果的であり、正会員の早稲田大学から、周知可能である旨、共有があった。

(3) 1月開催の JUNBA 理事会にかかる日程について

事務局から、1月開催の JUNBA 理事会について、JUNBA 勉強会と日程が重なるため、1週間前倒して、1月19日(木)に開催したい旨、説明の後、諮られ、審議了承された。

3. 報告事項

(1) 各拠点からの令和4年度の活動報告について【資料5】

事務局から、資料4に基づき、報告があった。

その後、資料4に基づき、名古屋大学及び大阪大学から共有事項について報告があった。

また、三宅会長から、中別府事務局長の一時帰国に合わせて、日本学術振興会東京本部に JUNBA 会長として訪問予定である旨、併せて報告があった。

(2) その他

特になし。

《配布資料》

- 【資料 1-1】第 167 回 JUNBA 理事会議事要旨(案)
- 【資料 1-2】JUNBA 理事会メール審議議事要旨(案)
- 【資料 2】令和 5 年度活動計画について
- 【資料 3-1】令和 4 年度第 2 回 JUNBA セミナー企画(案)(日)
- 【資料 3-2】令和 4 年度 JUNBA セミナーの実施にかかる検討事項
- 【資料 3-3】令和 4 年度第 2 回 JUNBA セミナー講演概要
- 【資料 3-4】講演候補者資料(Jolynn Shoemaker 氏)
- 【資料 3-5】講演候補者資料(Camille Kirk 氏)
- 【資料 4】2022 年度 JUNBA 活動計画表

次回理事会の日程: 令和 4 年 12 月 22 日(木)16 時 00 分～(PST)、23 日(金)9 時 00 分～(JST)